



# 経済・経営 レポート



## 世界に誇る全国の伝統的工芸品が福岡に集結！ 「KOUGEI EXPO～第35回伝統的工芸品月間国民 会議全国大会 福岡大会～」開催！

### 福岡が誇る伝統的工芸品

古くから海外諸国との交流窓口としての役割を果たしてきた福岡県。そのような背景から、県内には博多織、博多人形、久留米絣、小石原焼、八女福島仏壇、上野焼、八女提灯という7つの国指定の伝統的工芸品があります。

今年は、博多織伝来から777年、久留米絣考案者（井上傳）の没後150年という節目の年。福岡県では、全国の伝統的工芸品が一堂に集まる伝統的工芸品月間国民会議全国大会（KOUGEI EXPO）を開催し、国内外に日本の伝統文化や工芸品の魅力を広く発信します。

### 伝統的工芸品について

伝統的工芸品は、経済産業大臣によって定められた要件（主として日常生活で使用、主要工程が手作り、100年以上前から続く技術や技法など）を満たした工芸品であり、その持ち味を維持しながらも、生活環境に適するように改良を加えたり、時代の需要に即した製品作りがされている工芸品で、全国に230品目が指定されています。（平成30年8月現在）

### 福岡県の国指定伝統的工芸品

#### 【博多織（生産地：福岡市ほか）】

今年、伝来から777年もの歴史を持つ博多織。多くの経（たて）糸に、緯（よこ）糸を強く打ちこむことで厚く、張りのある生地に織り上がるのが大きな特徴で、昔から和服や浴衣の帯として愛され続けてきました。また、江戸時代には幕府への献上品にも選ばれた特別な織物です。

現在でも、その歴史から「献上柄」と呼ばれる

伝統的な柄が、博多織ひいては博多地区のシンボリックな模様として街中の様々な場所で使われているほどです。



#### 【博多人形（生産地：福岡市ほか）】

約400年前に筑前福岡藩の藩主に集められた職人による素焼き人形がルーツ。構想・デザインを繰り返しながら人形の姿を決める原型に始まり、本物の着物のように見える彩色、人形の顔に生命を吹き込む面相といった高い技術から生まれる繊細さと優雅さが特徴。どこかほっとする和みの表情にも癒される逸品です。



**【小石原焼 (生産地：東峰村)】**

イギリスの陶芸家で、画家でもあるバーナード・リーチに「用の美」と称賛された民陶・小石原焼。「飛び鉋<sup>とかな</sup>」や「刷毛目<sup>はけめ</sup>」などの独特の文様、土の温かみを感じられる素朴さが現代のライフスタイルになじむこともあり、今なお全国的にファンが多い焼き物の一つ。現在、東峰村には約50もの窯元が集積しており、窯元併設のギャラリーを巡って、それぞれ異なる作風を感じるのも楽しみの一つです。

**【久留米絣(生産地:久留米市、筑後市、広川町ほか)】**

200年以上にわたり続く綿織物。久留米絣の特徴である模様は、井上伝という女性が12~13歳の頃に自分の着ていた衣服の退色部分に白い斑点ができるのを発見したのがきっかけだったといわれています。

先染め織物だからこそ生まれる優しい風合い、温かみを感じられます。元々、農家などの仕事着に使用されてきた久留米絣は、着心地が良く、丈夫で機能的。現在では、伝統的な模様や藍染めだけでなく、モダンな柄やポップな色合いの製品も多く作られています。

**【八女福島仏壇 (生産地：八女市ほか)】**

荘厳華麗な仏壇で、漆塗り、隅々まで使用された金箔、手作りで行われる精巧な技法を継承した金具工程など伝統的格調高い金仏壇。6部門に分かれた熟練の職人がそれぞれの技術を駆使し、80もの工程を経て完成する仏壇は、職人技が結集した総合芸術ともいえます。





### 【八女提灯 (生産地：八女市ほか)】

八女地方の竹や、澄んだ水から生まれた和紙、絹などを素材にして誕生した八女提灯。ひご巻き、張り付け、絵付けなどの工程が分業で行われています。八女生産の多くがお盆用ですが、ライフスタイルに合わせて小型化されるなど時代と共に多様な製品が作り出され、お盆の風物詩であるだけでなく、文化の粋を集めた逸品でもあります。



### あがの 【上野焼 (生産地：福智町)】

江戸時代初期の茶人・小堀遠州が全国で作らせた茶道具の窯7カ所「遠州七窯」に数えられる茶陶の一つで、当時の茶人たちに大変好まれたという歴史が残っています。特徴は薄作りで軽いことと、多彩な釉薬を用いる点。色彩豊かで独特な風合いも魅力的です。



## KOUGEI EXPO ～第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会～

全国の伝統的工芸品が一堂に集まる「KOUGEI EXPO」が30年ぶりに福岡県で開催されます。

伝統的工芸品は、昔のもの・古いものではなく、時代に応じて発展してきたからこそ今に続いています。

会場では、今に息づく伝統的工芸品の魅力を、見て、感じて、知っていただく様々なイベントを展開します。

## イベント内容 (一部紹介)

### ○伝統的工芸品の展示・販売・実演・体験

会場では、福岡県の伝統的工芸品をはじめ、全国の工芸品が展示・販売されるほか、職人による実演や体験コーナーもあり、大人から子供まで楽しめるさまざまな企画が行われます。この機会に、匠の技に触れ、日本の伝統文化の素晴らしさを改めて感じてください。

また、福岡県知事指定特産民芸品展では、福岡県内で製造される郷土色豊かで、一定の伝統性を有する工芸品・民芸品(34品目)を展示・販売します。

### ○クリエイターとのコラボレーション展示

今をときめく各界のクリエイター7名の感性と職人の技術の融合により、今までにない工芸品の魅力を発信。話題化だけでなく、今後の産地振興にもつなげていきます。

### ○青年部企画

大川組子の組み立て式茶室など、伝統的工芸品で演出した空間でお茶等を提供(有料)し、来場者の皆様に伝統的工芸品を体感し、身近に感じていただきます。

### ○県内大学生×伝統的工芸品展

福岡大学、九州産業大学、久留米大学、久留米工業大学、近畿大学の5つの大学と県内7つの伝統的工芸品が連携。職人の技と学生の斬新なアイデアで生み出された新たな商品や、学生目線での伝統的工芸品PR動画の公開など、工芸品を新たな視点から見る事ができる展示を展開。

〈日程〉 11月2日(金)～4日(日) 10時～18時  
(2日は11時開始、4日は16時終了)

〈会場〉 マリンメッセ福岡 他 ※入場無料

#### 〈問合せ先〉

福岡県伝統的工芸品月間推進協議会  
(事務局：福岡県観光政策課)  
TEL：092-643-3454

KOUGEI EXPO

検索



### 【福岡工芸ウィーク】

KOUGEI EXPOの開催とあわせて、福岡工芸ウィークを開催します。

期間中、福岡市内の店舗を中心とした約20店舗で、県内の伝統工芸品の展示・販売などを行い、作り手と使い手をつなぎ、各所で工芸品との出会いをつくります。

福岡工芸ウィーク

検索



(昨年度の福岡工芸ウィークの様子)